



スマートマンション「アネシア八事高峯シティテラス」

～ 経済産業省の「スマートマンション導入加速化推進事業」認定取得 ～
2014年6月21日、マンションギャラリー・グランドオープン

トヨタホーム株式会社（名古屋市東区泉1-23-22、取締役社長 山科忠）と住友不動産株式会社（東京都新宿区西新宿2-4-1、代表取締役社長 仁島浩順）は、豊かな自然景観が保たれた名古屋市東部丘陵地の一角、昭和区高峯町に、初の共同プロジェクトとなるスマートマンション「アネシア八事高峯シティテラス」を建設し、6月21日（土）よりマンションギャラリーをオープンして、販売活動を始めます。

「アネシア八事高峯シティテラス」は、約9,200㎡の広大な敷地に、3棟の建物で構成された総戸数140邸の分譲マンションで、2015年春の完成を目指します。現地は良質な住環境と美しい景観が守られている第一種低層住居専用地域、かつ第一種風致地区に位置しているほか、名古屋有数の文教地区にも指定されているエリアです。また、名古屋市営地下鉄名城線「八事日赤」駅まで徒歩約4分と交通アクセスにも優れた立地に誕生します。



＜建物完成予想図 B棟＞

さらに、本物件は、経済産業省の「スマートマンション導入加速化推進事業」の認定を受けています。マンションエネルギーマネジメントシステム（MEMS）を導入、マンション全体でエネルギーを管理し、低コストで効率的なエネルギー利用を可能にしています。共用部の電気使用量を抑制するほか、高圧一括受電により各住戸では電気料金を5%低減することができます。

消費電力の「見える化」で省エネ意識を高めるとともに、太陽光発電システムや屋上緑化を施した次世代型環境配慮邸宅です。

トヨタホーム株式会社

〒461-0001 名古屋市東区泉1丁目23番22号
ホームページ：www.toyotahome.co.jp

※本内容はニュースリリース時点の内容となります。

■ 「アネシア八事高峯シティテラス」の主な特徴

《「スマートマンション」認定》

「アネシア八事高峯シティテラス」は、建物内で使用する電力消費量などを計測・蓄積し、空調や照明設備の制御やピークを抑制する機能を持つエネルギー管理システム「MEMS」(マンションエネルギーマネジメントシステム)を導入しています。さらに高圧一括受電を採用し、各住戸の電気料金を5%低減します。本物件はマンション全体でエネルギー管理を行い、エネルギーの効率的な使用や無理のない節電を実現するマンションとして、経済産業省の「スマートマンション導入加速化推進事業」の認定を取得しています。

「スマートマンション導入加速化推進事業」

マンション等の集合住宅において、MEMS アグリゲータ※のエネルギー管理支援サービスを受けることを前提に、MEMS の導入費用を国が補助することで、MEMS関連機器・サービスに関する民間投資を加速するとともに、省エネ・節電などのエネルギー対策に貢献することを目的とするものです。

※MEMS アグリゲータ

マンション全体のエネルギー管理システム (MEMS) を導入するとともに、クラウドなどによる集中管理システムを構築してエネルギー管理支援サービス(電力消費量を把握し節電を支援するサービス)等を行う事業者。

(本物件は長谷工アネシス)

高圧一括受電 5%割引※

高圧一括受電業者(長谷工アネシス)がマンション用電力を一括で購入し、各戸に電気を供給するサービスです。まとめて電力を購入することで、毎月の電気料金が5%割引となります。

□ 一般的なマンションの場合

電力会社 (電気事業者) → 各家庭がそれぞれ電力を購入 → 各戸 / 各戸 / 共用設備

□ アネシア八事高峯シティテラスの場合

電力会社 (電気事業者) → 高圧一括受電業者 長谷工アネシス → 各戸 / 各戸 / 共用設備

電力単価の安い高圧電力を購入し、低圧に変えて供給。 **電気料金 5%割引※**

※中部電力の従量電灯契約料金からの割引となります。 ■ 概念図

さらに

MEMS (マンションエネルギーマネジメントシステム) 目標 10%削減※1

スマートメーターとHEMS機器を設置することにより、家庭内の電気使用量の「見える化」と家電の「制御」※2を実現し、これにより家庭内のエネルギーや資源消費を最適化して無駄を減らすことを目的としたシステム。

MEMS (マンションエネルギーマネジメントシステム)

スマートメーター → 計測情報 → クラウドオペレーション → インターネット → ゲートウェイ → WiFi → 赤外線コントローラー → 照明 / エアコン / テレビ

◎見える化
◎家電制御
電気使用量および使用料金をスマートフォンで確認したり、制御することができます。

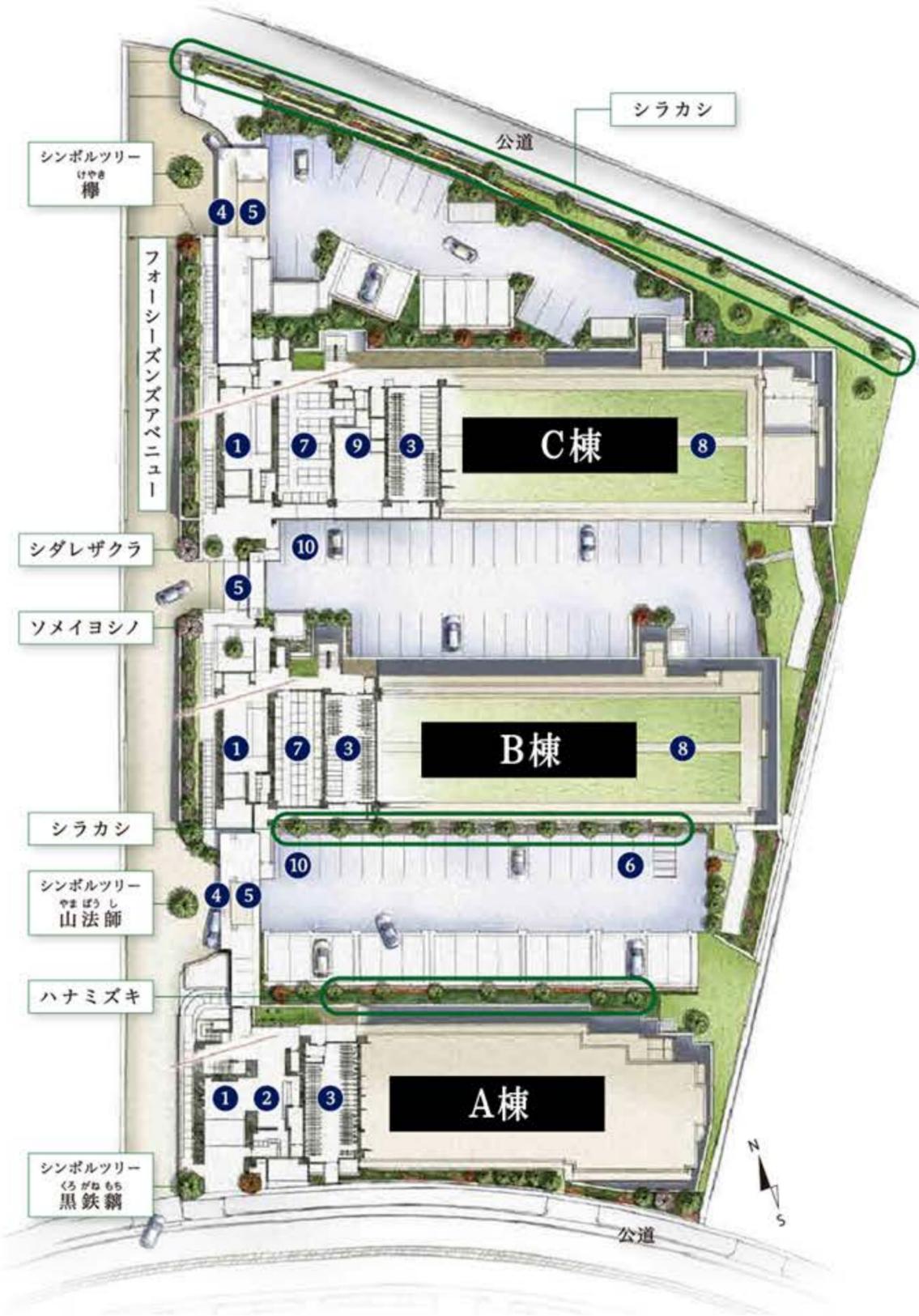
※1 マンション全体で10%削減目標 ※2 家電機器により対応できない場合があります。 ■ 概念図

《広大な敷地を活かしたランドスケープ》

駅徒歩約4分の「駅近」にして9,200㎡を超える広大な敷地、南傾斜という立地特性を活かし、全住戸南向き、3棟の建物で構成されており、陽光と通風が十分に確保された開放的で心地良い住環境を創造します。

敷地内には高木100本以上、中・低木3,500本以上の植栽を施し、美しい街にふさわしいランドスケープをデザインしました。また、南側のA棟は^{くろがねもち}黒鉄騎、中央のB棟は^{やまぼうし}山法師、北側のC棟は^{けやき}欐と、3棟それぞれに趣きの異なるシンボルツリーを配するなど、潤い豊かな周辺環境との調和を図っています。

なお、駐車場はセキュリティに配慮して電動シャッターゲートを設け、敷地内駐車率100%を実現しています。



140邸のスケールメリットを活かした共用空間。

- ① 2層吹き抜けのエントランスホール
- ② 高峯サロン
コンシェルジュカウンター
- ③ 屋内自転車置場
- ④ 雨の日も快適な
屋根付車寄せ
- ⑤ セキュリティを高める
駐車場入口電動シャッターゲート
- ⑥ ゲスト用駐車場
- ⑦ シーズン用品の収納に便利な
屋内トランクルーム
- ⑧ 屋上緑化
- ⑨ Flexible Salon
(集会室)
- ⑩ かまどスツール

＜敷地配置図イメージ＞

Symbol Tree シンボルツリー

3棟それぞれに、趣きの異なるシンボルツリーを植樹。

街並に配慮し、さまざまな種類の樹木を敷地内にバランス良く配した植栽計画。



《迎賓邸宅としての気品と風格を漂わせるデザイン》

潤い豊かな周辺環境との融和を図るため、建物の外観タイルは緑に映えるアースカラーのブラウンを採用、シャープでモダンな意匠を施しました。花崗岩のよう壁とシンボルツリーをはじめとした豊かな植栽が、迎賓邸宅としての佇まいを際立たせています。

また、C棟には、伸びやかで美しい水平ラインが特徴の庇を設けた車寄せをご用意。堂々たる門構えが、圧倒的な存在感を醸し出しています。



迎賓の象徴として棟ごとにエントランスをご用意しました。「アネシア八事高峯シティテラス」の顔ともいえる2層吹抜けのA棟エントランスは、天井高約5.5m、L字型の庇を持つゲート、2層に及ぶガラス面、シンボルツリーを中心とした植栽が迎賓空間にふさわしい華やかさを演出します。B、C棟はいずれも天井高約4.4m、2層吹抜けの統一したデザインのエントランスを設け、ご歓談などにご利用いただけるチェアとテーブルを配しました。

